

魅せる！
現場

現場を支える人々編

天ヶ瀬ダム再開発主ゲート設備他据付工事

Hitz 日立造船株式会社
Hitachi Zosen

地球と人のための**技術**をこれからも ——

～安心して暮らすために～

日立造船株式会社
松村 亮
2017年入社 25歳

天ヶ瀬ダム再開発事業のうち、トンネル放流設備のゲート室部に主ゲート設備、副ゲート設備、放流管設備、小容量放流設備を設置する工事を担当しています。設備の設計・製作から据付まで、さまざまな人々と協力し合ってより品質が向上することを目指しており、ミリ単位の誤差をゆるさないをモットーに仕事をしています。

～工事の品質と 技術力の向上を目指して～

チームワーク

天ヶ瀬ダムの工事では、溶接や塗装等、幅広い分野・年齢層の人々が一体となって作業を行っています。各分野のプロを集結させ、品質の向上を目指して、次々とゲートを据付けています。

施工管理

現場を進めていくにあたって仲間と現場で調整・確認しあい、一日一日を大切に作業を行っています。品質の向上、作業のポイントをキッチリ押さえます。

品質確保

ゲートの完成像をイメージしながら、1ピースずつ丁寧に据付けます。1ピースといっても、この大きさは圧巻です。

～設計・工事にかける思い～



友國 純志

設計の担当をしています。
工事では、設計・工事・職人がそれぞれの役割を全うし、お互いに連携することにより、モノを完成させます。
モノを完成させるイメージをつかんだ時の喜びは、素晴らしいです。



中村 佳佑

工事の担当をしています。
伝統の技術、新技術を駆使して、現場の効率化を目指します。
今以上にマネジメント力を身に付けてリーダー的な存在になれるように成長していきたいと思っています。

天ヶ瀬ダムの現場では、設備が実際に完成に近づいていく過程を見えています。設計の際に、現場の作業性を考慮した構造にすることの重要性を肌で感じることは、設計を行う上で良い刺激となります。

この経験から、設計に携わる技術者として、作業性に配慮し、より良い製品に繋がる設計技術を身に付けたいと考えています。

設計・製作・据付と様々な場面での課題に果敢に挑戦していきます！

～豊かな未来のために技術と誠意で
社会に役立つ価値を創造～



水門・鉄管メーカーとしてゲートをつくり続けた100年を超える歴史を
活かし、技術と誠意でアマサイゲートの品質を向上します。